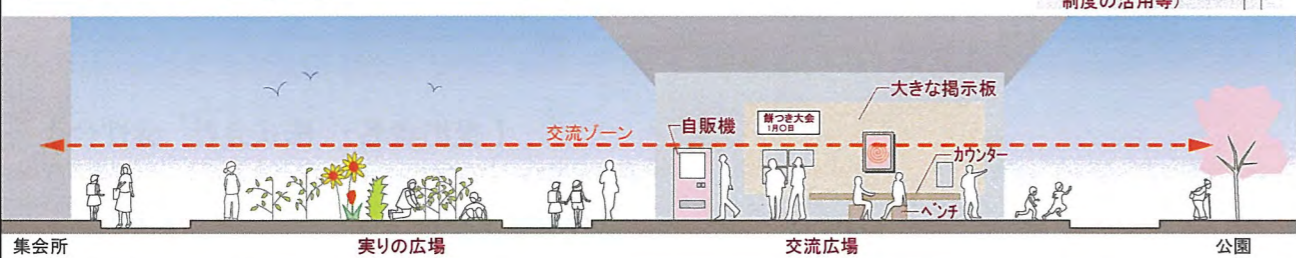
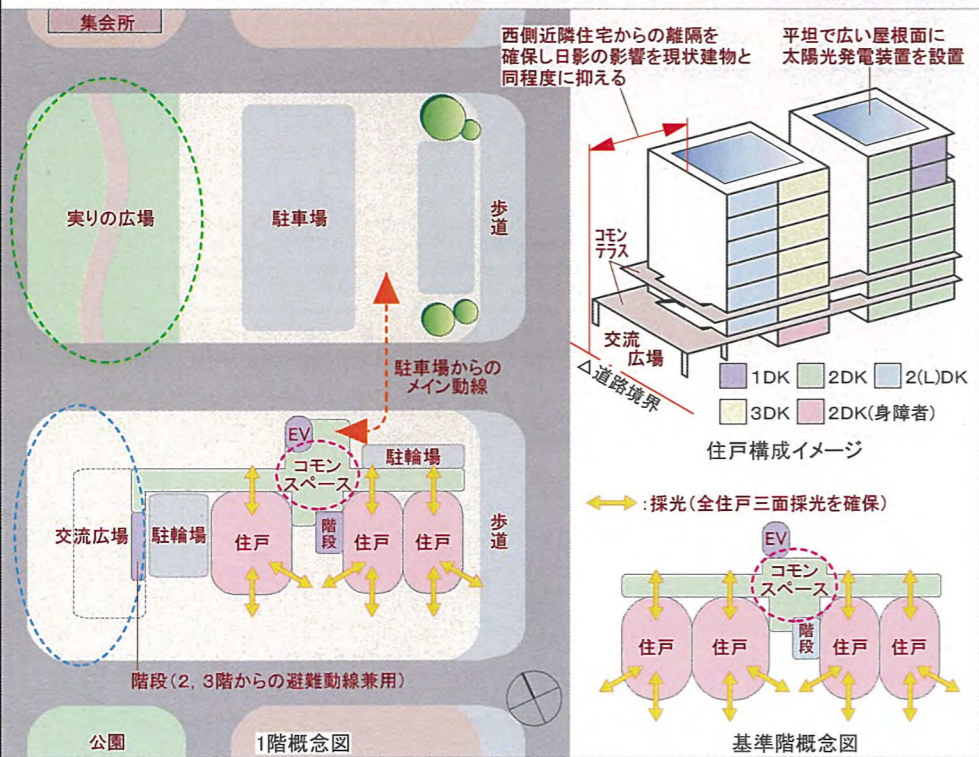


「良好なコミュニティを育むまちなみデザイン」及び「多世代に対応した良好な居住環境」についての提案



13cm × 11.5cm = 149.5cm²

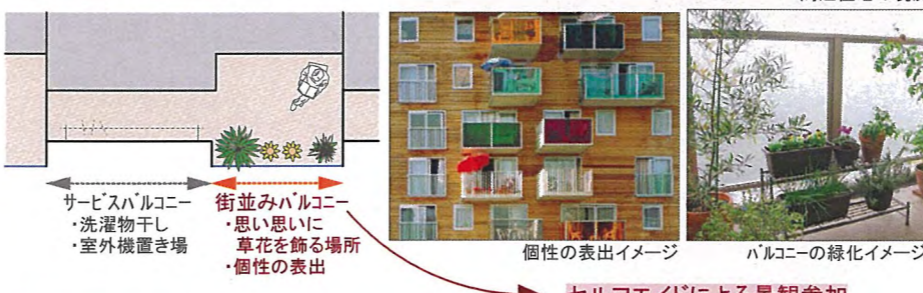


テーマ1: 「良好なコミュニティを育むまちなみデザイン」について

「まち」とつながる ～「私の家」が集まってコミュニティの顔をつくる～

周辺の住宅群は「家の前に緑を配する」という小さな意識の連鎖で街並みを形成しています。

この景観と共振する街並みバルコニーを配置します。



「まち」に作用する ～個化と特化～

無秩序を整えるシンプルなフレーム

「個化」どこにもない個性的な顔をもちつつ、
「特化」我々の集合住宅というアイデンティティが適度な帰属意識を生み出します。

集まって住むことの楽しさを表出するセルフエイドの外観

セルフエイドによる景観参加

街並みと共振しつつ、街並みに作用し続ける集合住宅へ

「人」とつながる ～参加し交流できる場所をつくる～

敷地の西側にオープンスペースを配し、既存の集会所から公園まで連続した「交流ゾーン」をつくります。

子供の寄り合い所 (勉強やスポーツ等、習い事の場として利用)

●実りの広場
野菜をつくるという楽しい社会参加の場です。栽培、収穫を通じて入居者同志、地域の人と入居者、高齢者から子供たちまで、自然で確かな交流が生まれます。(維持管理はNPOへ委託も可能)

●交流広場
建物の1階に大きい屋根を持つ吹き放しの空間をつくります。強い日差しや雨からも守られて、いろいろな集いやプレイロットとして利用できます。自動販売機やベンチ、大きな掲示板を置いて、みんなの交流の広場とし、この住宅と近隣住民とのインターフェイスとしての役割も果たします。

近隣利用の促進 (公園清掃等報奨金制度の活用等)



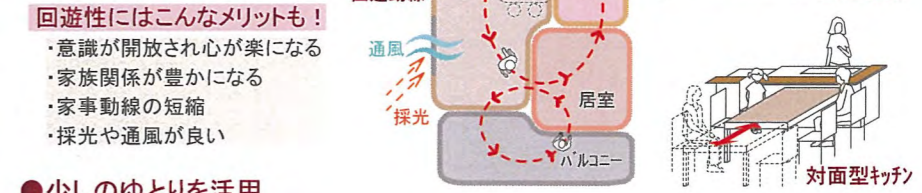
テーマ2: 「多世代に対応した良好な居住環境」について

住み方を支える ～多様な生活スタイルに対応できる住戸計画～

●全ての部屋に回遊性を確保

1way 閉じこもれる → 行き止まり
2way 開放できる → 通り抜け

回遊性にはこんなメリットも!
・意識が開放され心が楽になる
・家族関係が豊かになる
・家事動線の短縮
・採光や通風が良い

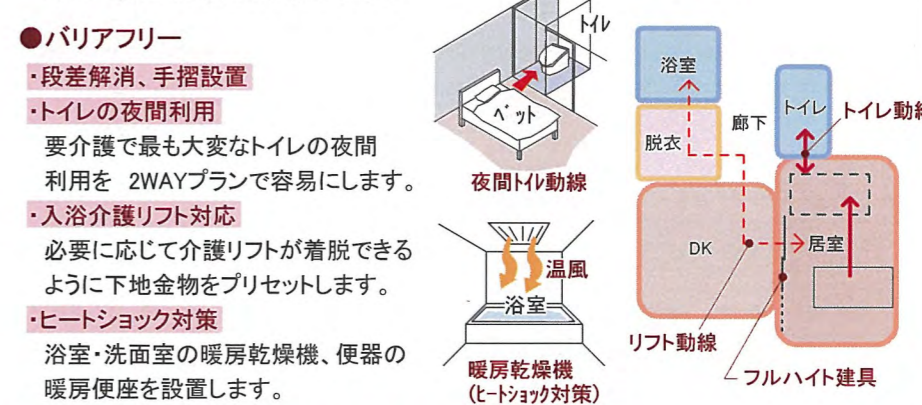


●少しのゆとりを活用

●対面型キッチンとカウンター
手狭な調理スペースを補い、家族の会話を弾ませます。

●ダイニングスペースに大テーブル
ダイニングスペースに少しゆとりを持たせ、大テーブルが置ける広さとし、家族が多い時はリビングスペースとして使います。

●フルハイト引き込み戸
ダイニングに隣接する居室との間仕切りを天井いっばいの引き込み建具として、家族人員が減った時の一体的な利用を可能とします。



●バリアフリー

●段差解消、手摺設置
●トイレの夜間利用
要介護で最も大変なトイレの夜間利用を2WAYプランで容易にします。

●入浴介護リフト対応
必要に応じて介護リフトが着脱できるように下地金物をプリセットします。

●ヒートショック対策
浴室・洗面室の暖房乾燥機、便器の暖房便座を設置します。

関わり方を支える ～多彩な関係性を築く commonspace～

●コミュニティの小道
低層階はバルコニーのさらに外側へセミプライベートスペースとしてコミュニティの小道をつくります。特定入居者相互の従前のお付き合いを継承し、高齢単身世帯の孤立を防ぐ工夫です。避難通路として屋外階段にも繋がる動線です。

●豊かな commonspace の醸成
・各住戸の玄関前にトランクルームを配置し、利便性とプライバシーの確保 (ちょっと隠れる場所) に配慮します。
・玄関扉前にアルコーブを設け、ベンチや花台を設置できるように整備します。
・開放廊下側の居室の開口部前は吹抜けとしてプライバシーに配慮します。これによって廊下のコモン性が高まります。

